

News Release

HITACHI
Inspire the Next

2021年3月22日
株式会社日立製作所

**After コロナを見据えた新たな協創により、Lumada ムーブメントを加速する
東京駅直結のフラッグシップ拠点「Lumada Innovation Hub Tokyo」を開設**
エコシステムの中で多様なステークホルダーをバーチャルとリアルでつなぎ、イノベーションを活性化



Lumada Innovation Hub Tokyo のイメージ

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、After コロナを見据えたニューノーマル社会でのイノベーション創出のあり方を「業界・空間・時間を超え、知恵やアイデアをつなぐ」ことと再定義し、その実現に向けたサービス・協創空間を「Lumada Innovation Hub」として体系化します。そして、そのフラッグシップ拠点として「Lumada Innovation Hub Tokyo」を4月15日に開設します。「Lumada Innovation Hub Tokyo」は、日立の「協創の森」*1や世界の先進工場「Lighthouse」に選出された大みか事業所などDX(デジタルトランスフォーメーション)の最前線となる協創施設や多様な人財と、お客様やパートナー、スタートアップ企業など業界を越えたステークホルダーをバーチャルとリアルでつなぎ、知恵やアイデアを掛け合わせることで価値創出を活性化します。

また、このような取り組みを強力に推進するために、グローバルでのDX推進やエコシステムのコーポレーションで多くの実績を有するキー・オピニオン・リーダー2名を社外から招聘します。

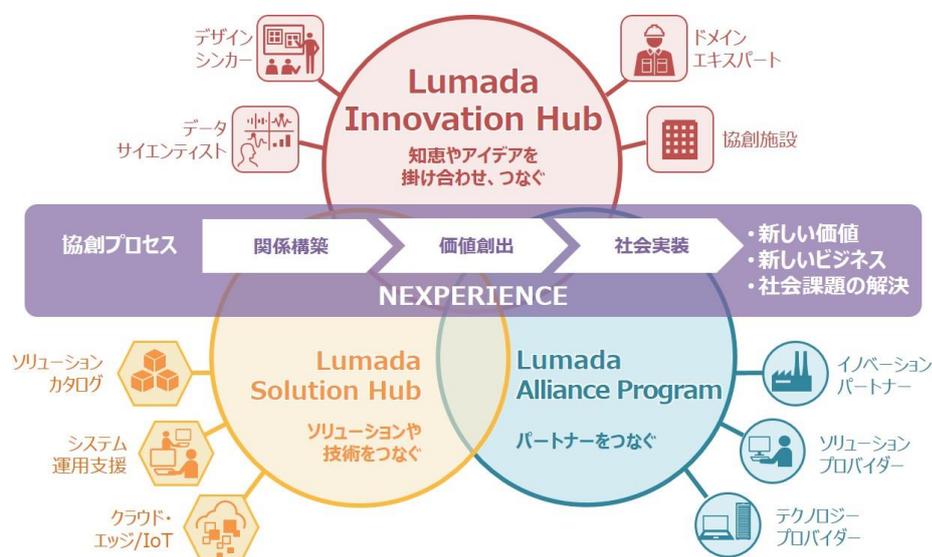
「Lumada Innovation Hub」のSenior Principalに就任する加治 慶光氏は、「これまで、『越境し、接続する。』ことですでに大きな成果をあげている Lumada ムーブメントは、Lumada Innovation Hub Tokyo の開設により、次のレベルに突入すると言えます。物理的・時間的制約を超えた多拠点就労が実現できることにより、Lumada のエコシステムのパワーは加速的に増大し、想

像だにしなかったイノベーションが生み出されることでしょう。リアルタイムでスタートアップの経営に参画する私にご縁をいただいたこと自体が、『越境し、接続する。』ことに日立が本気である証明であり、今まで官・民・学で培った経験を駆使して貢献したいと考えています。」と述べています。

Lumada Innovation Evangelist に就任する澤 円氏は、「日立の持つ幅広いテクノロジー、Lumada の持つ可能性を世の中に広める大役を与えていただき、非常に興奮しています。テクノロジーは世の中をよくするものだと信じて、テック業界でキャリアを積んできました。今までの蓄積が日立で生かせることがとても楽しみです。今後、Lumada アライアンスプログラム*2 のパートナー、Lumada Innovation Hub Tokyo に集まるステークホルダーの皆さまとともに DX の実現へ取り組んでいきたいと考えています。」と述べています。

日立は、これまで、社会価値、環境価値、経済価値および人々の QoL(Quality of Life)向上に向け、Lumada をエンジンとする社会イノベーション事業を推進してきました。その中で、イノベーションをより速く、より簡単に起こすための仕掛けとして、2019 年 3 月に日立およびパートナーのデジタルソリューションや技術をつなぐ「Lumada Solution Hub*3」を発表し、2020 年 11 月には業界を越えた多様なパートナーをつなぐ「Lumada アライアンスプログラム」を開始しました。

そして、今回、人々の知恵やアイデアをつなぐ「Lumada Innovation Hub」を加えて 3 つの仕掛けを連動させることで、さまざまな協創の現場がいつでもインタラクティブにつながりながら、日立とお客さまやパートナーがともに価値を創出し、循環させるエコシステムが完成します。日立は、激しく変化し続ける社会や環境を見据えながら、お客さまやパートナーとダイナミックに協創し、DX を実現していきます。



Lumada の 3 つの「つなぐ」施策のイメージ図

「Lumada Innovation Hub Tokyo」の設計コンセプトは、人々の豊かな営みを、時空を超えて一双の屏風に描いた「洛中洛外図」です。ここに集うさまざまな才能が DX を通じて生み出す多彩な価値をひとつに繋ぎ合わせることを象徴する「すやり霞」をデザインモチーフに、対話による発想や閃きなどを促しイノベーションの創出を支える物理空間と情報環境を用意しています。具体的には、オン

ラインでも利用可能な 5 つの協創空間「Meet-Up Square」「DX Gallery」「Co-Creation Studio」「Mirai Atelier」「Incubation Base」を提供し、ビジョン構築からビジネス化までの協創プロセスを支援します。また、これらの協創空間では、日立がコロナ禍において試行し培ってきたビジョン構築やアイデア創出などの協創プロセスのデジタル化のノウハウを駆使することで、議論を深める Face to Face を含めたリアルだけでなく、イノベーション創出を迅速化するバーチャルを組み合わせた最適なハイブリッド環境を提供し、レジリエントなコミュニケーションを支えています。



例えば、大みか事業所、Lumada Center Southeast Asia などの日立グループ拠点や Lumada アライアンスプログラム参加パートナーの DX の現場をつなぎ、バーチャル工場見学や実証実験へのリモート参加を実現することで、より具体的な議論を可能にし、迅速に協創を進めることができます。また、協創空間で開催するワークショップでは、社会の将来変化を捉えたビジョンデザインのフレームワーク 25 のきざし*4を活用することで、過去のデータからでは予測が困難な未来を洞察し、PEST の視点(P:政治、E:経済、S:社会、T:技術)で人々がどのような問題を抱えニーズを持っているかを考え、将来に向けて取るべき選択肢を導き出すことが可能です。このように導き出したビジョンやアイデアを「Lumada Solution Hub」を活用することで、素早く具現化していきます。

今後、日立は、「Lumada Innovation Hub」のコンセプトに則した協創空間を国内外に設置し、グローバルなパートナーとつなぐことで、イノベーション創出を活性化し、人々の QoL の向上と社会・経済の持続的な発展に貢献していきます。

- *1 2019 年 4 月 11 日ニュースリリース「お客さまやパートナーとのオープンな協創により、イノベーションの創出を加速する研究開発拠点「協創の森」を開設」<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/04/0411.html>
- *2 2020 年 11 月 4 日ニュースリリース「社会価値、環境価値、経済価値および QoL の向上に向けたオープンイノベーションを加速するパートナー制度「Lumada アライアンスプログラム」をグローバルで開始」<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2020/11/1104.html>
- *3 2019 年 3 月 18 日ニュースリリース「Lumada ソリューションの導入を迅速かつ容易にする「Lumada Solution Hub」を販売開始」<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/03/0318.html>
- *4 社会システムの要件を生活者視点で捉えなおし、あるべき像の仮説“ビジョン”を描出する取り組み https://www.hitachi.co.jp/rd/research/design/vision_design/kizashi/25future/index.html

■ Lumada Innovation Hub Tokyo の概要

施設名称	Lumada Innovation Hub Tokyo
センター長	Lumada Innovation Hub Senior Principal 加治 慶光
場所	東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー17F
Web サイト	https://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/innovation_hub/index.html

■Lumada Innovation Hub Tokyo の 5 つの協創空間と活用メリット

1. 認知・相談から体験:「Meet-Up Square」「DX Gallery」

DX の最前線で活躍するデータサイエンティスト、デザインシンカーなどのデジタル人財や、製造現場のライン制御、働き方改革の推進などさまざまな業務に精通したエキスパート、外部の有識者とリアルとバーチャルでディスカッションをすることができます。このように多様な知見やノウハウを取り入れながら議論することで、取り組むべきテーマや活動内容の枠組みを構築することが可能です。

2. 課題分析、アイデア創出から仮説構築:「Co-Creation Studio」

日立のデザインシンカーが、協創方法論「NEXPERIENCE」として数多くの事例を通して培ってきたワークショップやエスノグラフィー調査などの手法を駆使しながら、業界の動向や現場の状況を見える化する中で、ステークホルダーの意見が集約されたビジョン構築やアイデア創出を進めます。

3. 検証から実装、さらに次のイノベーションへ:「Mirai Atelier」「Incubation Base」

デジタルソリューションの検証や実装のプラットフォームとして「Lumada Solution Hub」を活用し、アイデアを素早く具現化します。「Lumada Solution Hub」には、日立や Lumada アライアンスプログラムのパートナーが培ってきた DX のユースケースやデジタルソリューションを順次登録し、アクセスできる環境を整えています。このような実績ある技術やデジタルソリューションを活用し、クラウドを介して業務の現場を接続し検証を行うことで、迅速な DX の実現につなげていきます。また、先進的な AI や OSS なども活用し、開発者コミュニティと連携しながらアジャイルな開発を行い、創出した新たなアイデアや技術などの最新情報は「Lumada Solution Hub」に蓄積することで、エコシステムでの継続的な価値創出の循環を実現します

■お客さまからのエンドースメント(50 音順)

全日本空輸株式会社 デジタル変革室 室長 新郷 雅史氏

「ANA は Lumada Innovation Hub Tokyo の開設を心より歓迎申し上げます。当社は、オープンイノベーションとデジタル技術・データ活用による『人の力を伸ばすデジタル戦略』をコンセプトにビジネスモデル変革に取り組んでおり、2019 年には ANA Blue Base*5 にイノベーション拠点を新設致しました。今回開設された Lumada Innovation Hub Tokyo によって、それぞれの施設の特徴を活かし、"日立様の Lumada" × "ANA のもつデータ" × "双方の施設"の相互活用を行うことで、さらなるオープンイノベーションを実現し、当社のデジタルトランスフォーメーションをより強力に推進できることを期待しております。」

*5 オープンイノベーション拠点「ANA Innovation Garage」を併設した ANA グループの総合訓練施設。

中部電力株式会社 技術開発本部 先端技術応用研究所長 石川 民子氏

「中部電力は、社会や最新技術の動向を幅広く注視して将来を洞察し、技術を活用・発展させることに取り組んでいます。Lumada Innovation Hub Tokyo によって、新たなビジネス・サービスの創出

に資する協創活動の実現を期待しております。当社は、お客さまと社会を結ぶ価値を確実にお届けするために、Lumada Innovation Hub Tokyo のパートナーの皆様ともつながりながら、『新たな価値の創造・提供』、『低炭素社会の実現』に取り組み、社会の持続的な発展に貢献して参ります。」

東急電鉄株式会社 技術戦略部 イノベーション推進課長 矢澤 史郎氏

「東急電鉄株式会社は Lumada Innovation Hub Tokyo の開設を大いに歓迎いたします。鉄道事業のさまざまな変革には先進技術の導入やデータを活用した DX の推進が必要不可欠です。そのためにも、Lumada Innovation Hub Tokyo には大きな期待を持つとともに、同施設を通じて共創と共働がさらに進むことを期待しております。」

ニッセイ情報テクノロジー株式会社 販売チャンネルソリューション事業部 事業部長 垣尾 政則氏

「ニッセイ情報テクノロジーは保険・共済・年金・ヘルスケアの分野で高い知見を発揮し、良質な IT トータルサービスを提供すべく日々取り組んでおります。弊事業部では従来からデータ利活用の支援に注力しており、Lumada Innovation Hub Tokyo により、取り組みをさらに加速したいと考えております。今後も、日立製作所様や日本生命様はもちろん、多くのお客様、パートナーの皆様と共に新たな価値を創造し、お客様に貢献して参ります。」

日本生命保険相互会社 商品開発部 部長 柏原 宏治氏

「日本生命は、5 万人の営業職員による Face To Face での活動とデジタルを融合させ、『人が輝くデジタル変革(DX)』を実現し、多様化するお客様のニーズにより一層お応えできるような体制づくりを目指してまいります。日立製作所様やパートナーの皆様と共に成長し続ける事業基盤を築くために Lumada Innovation Hub Tokyo による力強いサポートを期待いたします。」

日本たばこ産業株式会社 執行役員 柴山 武久氏

「日本たばこ産業株式会社(JT)は Lumada Innovation Hub Tokyo の開設を心より歓迎申し上げます。当社は、『ひとのときを、想う』という考えのもと、デジタル技術も活用したお客様への提供価値の最大化を目指し日々取り組んでおります。今回開設された Lumada Innovation Hub Tokyo によって、お客様にとっての『かけがえのないひととき』や『大切な時間』をお届けできるような DX の促進がより一層加速できると確信しております。今後も Lumada Innovation Hub Tokyo に集まるパートナーの皆様と共に、厳しい事業環境の中ではありますが、お客様を中心とするステークホルダーに対する責任を高い次元でバランスよく果たし、その満足度を高めることを通じて、サステナブルな事業運営を目指して参ります。」

■新人事のプロフィール

・Lumada Innovation Hub の Senior Principal



加治 慶光
(かじ よしみつ)氏

■ミッション

Lumada Innovation Hub の運営、コンサルティングサービスの提供、人財育成をリードしていきます。

■プロフィール

・シナモン AI 取締役会長兼 CSDO (チーフ・サステナブル・デベロプメント・オフィサー)、鎌倉市スーパーシティアーキテクト
・元・アクセンチュア株式会社 チーフ・マーケティング・イノベーター
富士銀行、広告会社を経てケロッグ経営大学院 MBA 修了。日本コカ・コーラ、タイム・ワーナー、ソニー・ピクチャーズ、日産自動車、オリンピック・パラリンピック招致委員会等を経て首相官邸国際広報室へ。その後アクセンチュアにてブランディング、イノベーション、働き方改革、SDGs、地方拡張等を担当後、現職。2016 年 Slush Asia Co-CMO も務め日本のスタートアップムーブメントを盛り上げた。

・Lumada Innovation Evangelist



澤 円(さわ まどか)氏

■ミッション

Lumada のエバンジェリストとして、Lumada アライアンスプログラム、Lumada Innovation Hub を含めた Lumada 関連施策について社外に向けた発信をリードしていきます。

■プロフィール

・株式会社圓窓 代表取締役
・元・日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員
2019 年 10 月 10 日より、(株)圓窓 代表取締役就任。数多くの企業や自治体、スタートアップの顧問を兼任しており、「複業」のロールモデルとして活動中。テクノロジー、セキュリティ、マネジメント、プレゼンテーションが自身のキャリアにおける「タグ」となっている。

■Lumada Innovation Hub Tokyo のコンセプト

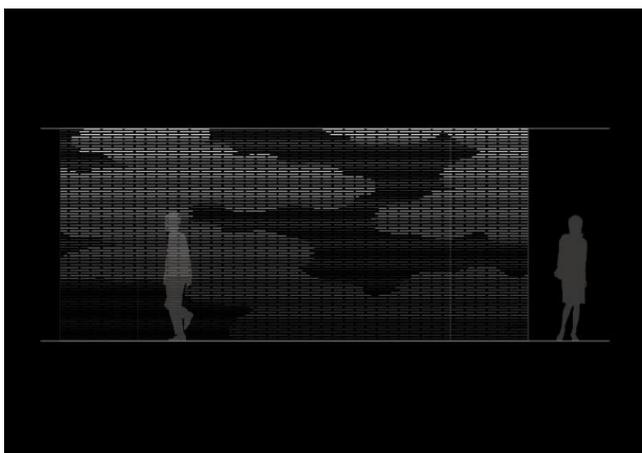
空間デザインコンセプトは「洛中洛外図」



世界中のさまざまな場所で、人々の豊かな暮らしを支え続ける日立の活動と、都市文化が花開き、それを謳歌する人々の様子を生き活きと描いた屏風絵を重ね合わせた設計概念です。

同時に、この Lumada Innovation Hub Tokyo という場を使って、そうした豊かな社会を描き、創りだして行くことへの意思表示でもあります。

「すやり霞」を現代的に解釈したしつらい



街のあちこちで繰り広げられる時空を越えた人々の多様な営みを、一枚の画布に繋ぎ合わせるための大和絵の伝統的な手法「すやり霞」。この「すやり霞」を現代的に解釈して、さまざまな施設のしつらいをデザインしました。ここに集うプロフェッショナルやタレントが、お客さまとともに DX を通じて生み出す多彩な価値を、豊かな社会の実現へとひとつに繋ぎ合わせることを象徴しています。

■関連サイト

Lumada アライアンスプログラム

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/alliance/index.html>

Lumada Solution Hub

https://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/about/lumada_hub/index.html

■日立製作所について

日立は、IT(Information Technology)、OT(Operational Technology)およびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業に注力しています。2019年度の連結売上収益は8兆7,672億円、2020年3月末時点の連結従業員数は約301,000人でした。日立は、モビリティ、ライフ、インダストリー、エネルギー、ITの5分野でLumadaを活用したデジタルソリューションを提供することにより、お客さまの社会価値、環境価値、経済価値の3つの価値向上に貢献します。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 サービス&プラットフォームビジネスユニット Lumada CoE

Lumada Innovation Hub Tokyo

お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/inq/>

以上

詳細別紙

Lumada Innovation Hub Tokyo がつなぐ多様な協創施設の詳細は以下の通りです。
国内外のさまざまな拠点のスペシャリストとオンラインでつながり、協創を進めることができます。

・大みか事業所

大みか事業所は、電力・鉄道・上下水や産業分野などの社会インフラ制御システムの生産・運用保守を担っており、多品種少量生産におけるマスカスタマイゼーションを追求しています。これまで、設計・製造ノウハウを含む多種多様なシステムの情報をつなぎ、かつ現場を可視化することで、部分最適から全体最適への改革を推進してきました。2020年1月、WEF(世界経済フォーラム)より世界の先進工場「Lighthouse」へ選定されました。



URL: https://www.hitachi.co.jp/control_sys/omika/

・「協創の森」

中央研究所に開設された「協創の森」では、世界中のお客さまやパートナーとともに社会課題の解決に向けたビジョンを共有して、アイデアソンやハッカソンなどを通じて新たな事業機会を探索します。日立が長年にわたり蓄積してきた IT、OT(Operational Technology) 関連技術と、協創方法論「NEXPERIENCE」や Lumada を活用したアイデア創出、ラピッドプロトタイピングによる仮説検証のサイクルをスピーディーに繰り返すことで、事業シナリオを構築します。



URL: <https://www.hitachi.co.jp/rd/open/kyosonomori/about/index.html>

・Lumada Data Science Lab.

日立が有する幅広い業種・業務の専門的知見やノウハウ、人財、先端技術を集結。より複雑で高度なお客さまの課題に応え、Lumada によるデジタルイノベーションを加速させる AI・アナリティクス分野の中核組織です。お客さまの課題やニーズに合わせてエキスパートが連携し、個々の知見やスキルをベースに柔軟な発想で技術と業務をマッチングします。日立独自の技術だけでなく、OSS やパートナー企業の技術も含めて最適な技術を適用し、スピーディーに検証を進めていきます。

URL: <https://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/about/ai/ldsl/index.html>

・Lumada Competency Center

実機によるデモ・検証を通して Lumada ソリューションを共感できる場。お客さまの関心が高いビジネステーマに実機検証を組み合わせた実機デモや、レガシーシステムを次ステージに上げるための実機検証、お客さまのニーズに合わせた検証が可能。

*2021年4月、Harmonious Center of Competency(2003年設立)から改名



URL: https://www.hitachi.co.jp/products/it/lc_center/index.html

・Lumada Center Southeast Asia

2018年9月、タイ王国(以下、タイ)政府が推進する"Thailand 4.0"実現への貢献に向けて、アマタシティ・チョンブリ工業団地内に開設。日立は、Lumada によりデータ分析やAIを活用し、タイにおける工場の生産性向上を支援しています。また、2020年10月、エネルギー・金融・スマートシティなどの幅広い分野へのサービス提供を目的にバンコク市内に Lumada Center の分室を設立しました。日立は持続可能かつ価値に基づく経済の実現をめざすタイ政府のビジョンをサポートしていきます。さらに今後は、これらの成果を、ASEAN 地域へと展開していく計画です。



URL: <https://www.hitachi.co.th/eng/about/hitachi/lumadacenter/index.html>

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
